

産学官連携と知的財産

～信州域から発信するイノベーションエコシステムと知財戦略の新しいかたち～

日時 2022年 **11** 月 **4** 日(金) 14:00～17:00

方法 Zoomウェビナーを用いたオンラインセミナー

参加無料

300
先着 名予定
(事前登録制)

イノベーションエコシステムとは、産業界、アカデミア、行政の間の相互理解と信頼のもと、産学官にわたる多様な組織が相互に協働、競争を続け、イノベーションを誘発するように働くシステムのことです。

エコシステムを成功させる必須要素は、産学官における人材、知識、情報、資金の好循環であるといえます。イノベーション創出に向けてステークホルダーのベクトルがそろうことによって、その好循環から多くの「知」が創出され、その「知」を適切に活用・権利化し、次なる好循環の礎とする環境が生み出されると考えます。

本シンポジウムの冒頭に、基調講演でイノベーション創出に深く関係する我が国の知財エコシステムの強化についてお話をいただきます。続いて、信州大学の取り組みについて紹介し、企業からの視点、そして研究者の視点からの講演後、信州域を担当される行政のお立場から今の時代の産学官連携についてご講演いただきます。

後半においては、産学官連携において持続的な発展をもたらすには、どのようなイノベーションエコシステムを構築し進めていくのが良いか、知財戦略にも触れつつ、今後の道筋について議論を深めます。

大学関係者だけでなく、産学官連携や知的財産活動に携わられる方々に幅広くご参加いただきたいと思います。

多くの方のご参加をお待ちしております。

※詳しい講演内容、講師プロフィール、お申込方法は裏面をご覧ください。

○プログラム

- 14:00 **開会挨拶**
向 智里 | 信州大学 理事(研究、産学官・社会連携担当)/副学長
- 14:05 **基調講演**
「我が国の知財エコシステムの強化に向けて」
浜岸 広明 氏 | 内閣府 知的財産戦略推進事務局 参事官
- 14:35 **講演1**
～
16:05 「イノベーション創出システムの構築を目指す、信州大学の取り組み」
杉原 伸宏 | 信州大学 学術研究支援本部長
- 講演2**
「エプソンの産学官連携を通じたイノベーション創出」
市川 和弘 氏 | セイコーエプソン株式会社 執行役員/技術開発本部長
- 休憩
- 講演3**
「研究の価値をどう活かすか ～信大クリスタルの誕生～」
手嶋 勝弥 | 信州大学 先鋭領域融合研究群 先鋭材料研究所長/教授
- 講演4**
「地域における産学連携の現状とその支援策について」
幸物 正晃 氏 | 経済産業省 関東経済産業局 地域経済部 産業技術革新課長
- 16:05 **パネルディスカッション**
「イノベーションエコシステムと知財戦略の新しいかたち ～現状の課題と今後の展望～」
- パネリスト 幸物 正晃 氏 | 経済産業省 関東経済産業局 地域経済部 産業技術革新課長
市川 和弘 氏 | セイコーエプソン株式会社 執行役員/技術開発本部長
手嶋 勝弥 | 信州大学 先鋭領域融合研究群 先鋭材料研究所長/教授
杉原 伸宏 | 信州大学 学術研究支援本部長
- モデレータ 阪崎 裕美 | 信州大学 学術研究・産学官連携推進機構 教授

主催 信州大学 学術研究・産学官連携推進機構

後援 関東経済産業局、独立行政法人工業所有権情報・研修館、公益財団法人長野県産業振興機構、一般社団法人長野県発明協会（予定含む）

講演内容・登壇者プロフィール

基調講演

「我が国の知財エコシステムの強化に向けて」

知的財産戦略本部が本年6月3日に決定した知的財産推進計画2022において、スタートアップ・大学を中心とする知財エコシステムの強化や、知財・無形資産の投資・活用促進メカニズムの強化などの施策の方向性が取りまとめられた。今回はこれらの施策の最新の検討状況についてご紹介したい。

浜岸 広明 氏 | 内閣府 知的財産戦略推進事務局 参事官

1998年特許庁入庁。電気・情報分野の審査審判業務、国際審査協力などに従事。2016-17年、特許庁企画調査課にて、知財活用・知財人材育成に係る施策の企画・立案を担当。2017-2020年、韓国・ジェトロソウルにて日系企業の知財支援を担当。2021年7月より現職において、産業競争力強化の政策を推進。



講演 1

「イノベーション創出システムの構築を目指す、信州大学の取り組み」

信州大学は、地方創生から国際社会の発展にまで寄与するため、「研究」・「産学官連携による社会実装」・「人材育成」の高次元融合によるイノベーション創出システムの構築を目指しています。小職が属する学術研究・産学官連携推進機構における取り組みと、学内外への波及についてご紹介し、本シンポジウムの議論を深めることができれば幸いです。

杉原 伸宏 | 信州大学 学術研究支援本部長

1999年 信州大学大学院博士後期課程修了（工学）。2000年 信州大学助手。2007年 信州大学講師。2010～2012年 信州大学学長補佐。2011年 信州大学准教授。2013年～現在 信州大学学長補佐。2014～2016年 信州大学 リサーチ・アドミニストレーションセンター長。2015年 信州大学教授。2016年～現在 信州大学 学術研究支援本部長。信州大学の組織を挙げた産学官連携や人材育成等に取り組む。



講演 2

「エプソンの産学官連携を通じたイノベーション創出」

昨今の社会情勢の急激な変化や、消費者の価値観の多様化に企業が迅速に対応するためには、自社技術と、共創パートナーの技術・知見を融合し、新たなイノベーションを生み出し続ける必要がある。そのための有力な手段である、大学が持つ高い知力を活かした産学連携共創活動について、我社の取り組み事例を紹介する。

市川 和弘 氏 | セイコーエプソン株式会社 執行役員/技術開発本部長

1982年に入社。産業用ロボットの開発や、レーザープリンターの研究開発を経て、2011年から製紙工程に水を使わない独自の新技术「ドライファイバーテクノロジー」の開発に着手し、2016年に乾式オフィス製紙機「Paper Lab（ペーパーラボ）」を発表。2017年より技術開発本部副本部長を経て、2020年より現職。



講演 3

「研究の価値をどう活かすか ～信大クリスタルの誕生～」

人々の生活を豊かにするために、大学で生まれた研究成果を社会還元することは研究者の使命のひとつです。もちろん、社会貢献の中心は科学の発展に寄与することですが、近年では①特許取得や技術移転すること、②共同研究や国プロ等により技術を展開すること、③ベンチャー企業を設立することなど、多様な視点の貢献が期待されています。今回は後者①～③を中心に活動を紹介します。

手嶋 勝弥 | 信州大学 先鋭領域融合研究群 先鋭材料研究所長/工学部教授

2003年名古屋大学大学院工学研究科博士課程後期課程修了。2005年信州大学工学部助手、2010年同准教授、2011年同教授。文科省地域イノベーションやJST COIの主要テーマに参画し、特許、意匠、商標等の知財ポートフォリオを形成、浄水器を製品化。2022年1月に設立した信州大学認定ベンチャー企業、ヴェルヌクリスタル（株）のCTO。



講演 4

「地域における産学連携の現状とその支援策について」

日本経済を巡る状況が極めて複雑になる中、イノベーション創出の重要性はますます高まっており、大学を含むイノベーションエコシステムの構築は重要な課題となっています。産学連携やスタートアップ創出の現状、またそれに対する国の対応や支援策について、大学・産業界への期待を交えながらご紹介させていただきます。

幸物 正晃 氏 | 経済産業省 関東経済産業局 地域経済部 産業技術革新課長

1997年慶應義塾大学商学部卒業。同年関東経済産業局に入局。1999年環境立地局立地政策課、2008年多摩信用金庫への出向の後、総務企画部 総務課、地域経済部 地域経済課、総務企画部 企画調査課等を経て2021年より現職。地域におけるイノベーション促進、産学連携、創業・スタートアップ、産業標準、知的財産等を担当。



パネルディスカッション

「イノベーションエコシステムと知財戦略の新しいかたち ～現状の課題と今後の展望～」

日本において四半世紀に渡り、産学連携を促す様々な施策が講じられてきました。それらを踏まえ、大学、企業、行政等の多様なステークホルダーが互いに協同して継続的な相互の発展をもたらす、最終的に地域や日本経済への貢献を目指すには、どのようなイノベーションエコシステムを構築し、その中で「知」の扱い等、どのようにエコシステムを運用していくのが良いか、今後の道筋について議論を深めます。

パネリスト **幸物 正晃** 氏 | 経済産業省 関東経済産業局 地域経済部 産業技術革新課長

手嶋 勝弥 | 信州大学 先鋭領域融合研究群 先鋭材料研究所長/教授

市川 和弘 氏 | セイコーエプソン株式会社 執行役員/技術開発本部長

杉原 伸宏 | 信州大学 学術研究支援本部長

モデレータ **阪崎 裕美** | 信州大学 学術研究・産学官連携推進機構 教授

お問合せ先

信州大学 学術研究・産学官連携推進機構
 知的財産・ベンチャー支援室
 E-Mail chizai@shinshu-u.ac.jp
 TEL 0263-37-2074 FAX 0263-37-3425

お申込方法

シンポジウムに参加をご希望される方は、下記URL
 または右記QRコードよりお申込フォームにアクセス
 ください。
<https://onl.tw/trV39Vg>

